

平成29年度3月号 [3月15日(発行)]



# 東風だより

川口市立東中学校  
川口市東本郷2-20-47番地  
TEL 048-281-4065  
特別支援学級 285-2423  
さわやか相談室 281-4627  
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

## 三 歳 橋

校 長 安 部 正 幸

正門を出て左側、坂を南に下ったところに見沼代用水路があります。この用水は大宮台地の縁を流れており、この付近が大宮台地の最南端になります。学校から坂を下ってここまでが台地、ここから南側は低地です。そこに「三歳橋」と欄干に刻まれた小さな橋が架かっています。この橋はちょうど、東中生が朝ここから学校に向かい、夕方再びこの橋を渡って帰路につくという場所にあります。東中生がこれを3年間繰り返すことで、3歳年を取ることから「三歳橋」という名前がつけられたという話を聞いたことがあります。

### 中学校での3年間

中学校での3年間は、義務教育としても最後の3年間となります。この3年間を終えた人は、今度は自ら切り開いた進路に向かって、自らの力で進んでいくこととなります。キャリア教育の中で、ある専門家は「大抵の人は、中学校3年間でどのように過ごしたかでその人が一生のうちに得るであろうおおよその収入の額が決まる。」と言っています。さらに「様々な人間関係の中で、成長と共に思い悩み苦勞しながら解決したことは、大人社会に出たときに、自己解決能力となって必ず役にたってくる。」とも言っています。これほどに中身の濃いのが中学校での3年間です。

### 巣立ちゆく71期生へ

皆さんの入学式は、東京地方ではおおよそ20年ぶりとなる雪の日の入学式であったと思います。あの日から間もなく3年が経とうとしています。そして今日、いよいよこの東中学校を巣立って行くこととなります。思えば東中はこの3年間、71期生の力によって大きく変わり飛躍しました。目指していた、落ち着きと潤いのある学校づくりに皆さんの力は大きく貢献したと言えます。特に最上級生となってからの1年間は、後輩達の良き模範となり、様々な学校行事でその素晴らしい姿を見せてくれました。その背中を見てきた後輩達は、その伝統をしっかりと引き継いでくれたものと思います。今年の卒業式は、そのような皆さんへの感謝の気持ちを込めて、今まで以上に卒業生が主役に見える卒業式にしようということで、先生方と考えた新しい形式を導入してみました。ぜひ、胸を張って堂々とした姿で巣立って行ってほしいと思っています。

今年もまた3歳年をとった東中生達が巣立って行く日が来たなど、3年間71期生を見守り続けてきた三歳橋も、きっと卒業生の皆さんのことを祝福してくれていることと思います。